

事務事業評価表

○基礎情報

課名		施設再編整備課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	63	公共施設の再編整備と適正な維持管理を進める	鈴木 嘉朋	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				3 人	5 人	0 人	0 人	0 人	1,097 時間	18.3 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
公共施設の再整備完了件数	6件	3件	-	7件(累計)	-	-
0	0.0%	0				
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果	Plan / Do								総合評価 (Check)			Action			
		何を・誰を (対象)	どうやって働か け(手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円)	H29予算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止
								H28決算(円)	H29決算(円)								
1	公共施設等再編整備基金事業	「公共施設整備・再編計画(改訂版)」に位置づけられている施設の再整備に必要な財源を計画的な積み立てにより確保する。	政策	0.17	一般	443,000 442,735	500,480,000 500,479,979	基金の積み立て	基金の積み立て及び効率的な運用	基金の積み立て及び効率的な運用	S	変動なし	●				
2	本庁舎跡地等周辺整備事業	本庁舎跡地の整備等を行い、防災機能の拡充、環境負荷の低減及び緑の創出を図る。また、仮設庁舎跡地に民間活力を導入し、効果的な資産運用を図る。	政策	2.63	一般	148,538,921 126,503,721	25,978,000 11,874,400	本庁舎跡地利活用の進捗	本庁舎跡地の利活用に関する設計	本庁舎跡地の利活用に関する設計	S	変動なし					
3	公共施設整備・再編計画推進事業	耐震性や設備の老朽化などに課題がある公共施設の再整備の推進をする。	政策	2.97	一般	0 0	0 0	事業の進捗状況	文化会館改修、学校大規模改修ほか	文化会館改修、学校大規模改修ほか	S	変動なし					
4	建築基準法第12条に基づく法定定期点検の実施	公共建築物の安全性及び防災機能確保を図るため、建築基準法により点検が義務づけられた施設について、定期点検を実施する。	政策	0.27	一般	6,593,000 6,588,000	6,663,000 6,048,000	法定定期点検等の実施	法定定期点検の実施	法定定期点検の実施	S	変動なし					
5	公共建築物中長期保全計画推進事業	施設利用者が安全かつ快適に利用するため適切な維持管理の推進する。また、施設の維持管理費用を把握し、計画的かつ効率的な予算執行を行う。	政策	0.23	一般	0 0	0 0	事業の進捗状況	適正な予防保全の実施	適正な予防保全の実施	S	変動なし					
6	公共施設等包括管理事業(提案型民間活用制度事業)	提案型民間活用制度を利用し、包括的に管理を行うことで、より効率的効果的な維持管理を行うことを目的とする。	政策	0.18	一般	3,223,000 3,222,720	3,223,000 3,222,720	事業の進捗状況	保守点検委託の実施	保守点検委託の実施	S	変動なし	●	●			

7	「建物維持管理の手引き」に基づく管理及び指導	「建物維持管理の手引き」の統一基準による建物の点検を行うことで、施設の長寿命化を推進する。	定例 定型	0.39	一般	0 0	0 0	事業の進捗状況	管理者による点検を 年2回実施	管理者による点検を 年2回実施	S	変動 なし	●		
8	管理支援システム等の運用	公共建築物の建物や敷地、営繕工事、中長期保全に関する各種データを統合的に管理・運用し、建物を適切に維持管理する。	定例 定型	0.18	一般	2,778,000 2,777,173	2,628,000 2,625,682	事業の進捗状況	支援システム等の保 守管理	支援システム等の保 守管理	S	変動 なし			
9	災害応急対策活動	-	定例 定型	0.19	一般	0 0	0 0								
10	庁内共通事務	-	定例 定型	0.78	一般	300,000 291,854	190,000 158,234								
合計				8.00		H29総予算(円) H29総決算(円)	539,162,000 524,409,015								

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action)	
<p>施設再編整備課の第3次実施計画の事務事業数は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」を除き8事業であり、すべて評価が「S」となった。</p> <p>すべての事業で指標の達成度80%以上を達成でき、概ね順調に事業が実施できたと考えているが、本庁舎跡地等周辺整備事業に関する仮設庁舎跡地の民間活用は予定を先送りし、平成30年度に民間事業者の公募を行うこととなった。</p> <p>職員の時間外勤務については、総時間で1,097時間、一人あたり月平均18.3時間であり、昨年度と比べて月平均3時間減少している。これは、仮設庁舎跡地の民間活用業務が先送りされ、業務量が減少したためである。しかし、文化会館改修に関する時間外勤務は高い水準にある。見直しを行い、時間外勤務縮減を意識して業務を行う必要がある。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-

5 働かたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
-	-	積極的な情報共有を行うため定期的な課内会議を実施したことにより、各自が業務をより計画的に進める意識を持ち、課内の個別事業が以前より早い段階で結びつき、効果的な選択肢が増え、効率的で生産性の高い業務体制が築かれた結果、時間外の縮減につながった。
-	-	業務の多様化や変革期となっている業務に関し、中長期的な視点に立ち、課内業務の本来の目的を課内全員で共有することで、個人のモチベーションのアップや目的意識の統一につながった。